



加古川刑務所
うらかた きよ
 所長 浦方 亀世 さん

明るい社会づくりのために、 地域との連携を強化します

本年4月に着任され、加古川刑務所では2人目の女性所長となる浦方亀世さんに、刑務所の役割と取り組み等のお話をお伺いしました。

官民共同で運営を行っています

加古川刑務所は、主に犯罪傾向の進んでいない刑期10年未満の男子受刑者に加えて、交通事故受刑者と女子受刑者を収容しています。

施設の特徴としては、全国的に珍しい男子受刑者と女子受刑者を同じ敷地内で収容しているほか、被収容者の給食業務を民間委託し、官民共同で施設運営を行っています。官民共同体制は、地元地域との共生が重要だと認識して

おり、給食業務に携わる民間職員の大
 半が地元の方々の、食材も地産地消を
 推奨しています。

再犯防止と社会復帰に向けて

最大の目的である「再犯防止」と「社会復帰」に向けて、被収容者自身
 が更生しようと思えるように様々な取
 組を行っています。その一つに「勤労
 意欲の醸成」があります。出所後の仕
 事の確保のために、加古川刑務所では、
 受刑者が衣類の縫製や物流機器の部品
 組立といった作業を行っており、この
 ような作業を地域の事業所の皆様から
 提供していただくことで、刑務作業が
 成り立っています。

再犯防止を目的とした重要な課題に
 取り組んでいくには、刑務所だけでは
 限界があるため、地域の事業所の皆様
 や福祉関係機関の方々などと連携を取
 りながら、出所者を地域に繋げるため
 の働きかけを行っています。

今年も開催します「かがわ矯正展」

41回目となる「かがわ矯正展」は、
 今年度11月16日(土)・17日(日)に加古川刑
 務所の敷地内で開催予定です。

矯正展では、刑務所作業製品の展
 示・即売を行う予定です。数量限定で、

話題となった固形石鹼の「ブルーステ
 イック」や横浜刑務所製の「乾麺」を
 販売するほか、加古川の受刑者が作っ
 たソファなど数々の製品を取り揃えま
 す。また、
 売上額の
 一部は、
 犯罪被害
 者支援団
 体の活動
 支援のた
 め寄付に
 充ててい
 ます。さ
 らに、刑
 務所の朝
 食に出される「パン」の販売や、地元
 学生による演奏などのイベントも企画
 していますので、この機会に是非お立
 ち寄りください。



受刑者が製作したソファ、テーブル等
 (各事業所からの製造作業の受注も行っています)

明るい社会づくりのために

犯罪の起こらない明るい社会を作る
 には、地域の皆様のご理解とご協力が
 必要不可欠です。今後も、地域として
 事業所の皆様の更なるご支援をいただ
 きながら、連携強化に努め、受刑者の
 改善更生・社会復帰に取り組みたい
 と思います。